

令和5年度 よこはま子ども 国際平和プログラム 報告書



令和6年3月

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会

協賛:株式会社オカムラ・横浜冷凍株式会社



Yokohama Children's Peace Message 2023

In May of 2023, the leaders of the G7 members gathered in Hiroshima to address global issues. The president of Ukraine also joined the meeting. To think that Hiroshima is a city that was destroyed by atomic bomb while Ukraine is now suffering because of war reminded us of our mission to work for peace. It made us realize that war is not a thing of the past nor something that happens to others. War affects all of us this very moment, and peace is something that we must get by ourselves.

We go to school, study with friends, eat meals, play our favorite sports or music, and make our dreams come true. For many of us, this is the normal life. However, if we widen our horizon, we will see that this life is not normal for everyone. Some cannot go to school even though they want to learn many things, some do not have enough food to eat, some are frightened by war, and some face daily danger. This is the normal life for them.

How much attention do we give to these global problems? Have we asked ourselves what can we do? Is there nothing we could do to achieve a peaceful world? Let us learn what is happening in the world, think of answers, take actions, and continue to do actions, share our experiences, respect the thoughts and individuality of everyone, and have interest in understanding the many differences of culture and languages. We can do many things.

The world problems are our own problems. We will do what we can to solve these problems, one by one. It is hard to do it alone but if we work together, we can find solutions to these global issues through communication. We believe that international peace can come true.

2023 Yokohama Children's International Peace Program Members

よこはま子どもピースメッセージ2023

2023年5月、G7広島サミット。主要7か国の首脳が集い、世界の課題を話し合いました。被爆地広島で開催されたこと、そこで、今まさに戦禍に苦しむウクライナの大統領が、平和への願いを切実に訴えたこと。それは、戦争は過去の事でも他人事でもない、今、私たち一人ひとりに課された課題であり、平和は自分からつかみにいかなければならないものなのだと感じさせられた出来事でした。

学校に行き、友達と共に学び、食事をとり、好きなスポーツや音楽に打ち込んだり、夢に向けて努力したりする。私たちの多くにとってはそんな毎日が「ふつう」です。しかし、少し視野を広げると、それは決して「ふつう」ではないことに気付かされます。学びたいことはたくさんあるのに学校に行けない、お腹いっぱい食べられない、戦火に怯え、命の危険にさらされている、それが「ふつう」の毎日を送っている人もいます。

私たちはどれだけそういった世界の課題に目を向け、自分のこととして考えられているでしょうか。平和な世界にするために、私たちにできることは何もないのでしょうか。世界で起きていることを知ろうとすること、何ができるか考えること、行動を起こすこと、行動を継続すること、経験したことを伝えていくこと、友達の思いや個性を大切にすること、言葉や文化の違いに興味をもつこと、私たちがちにできることはたくさんあります。

世界の課題は自分の課題。課題を解決するために、自分にできることを、私たちは1つずつ実行していきます。1人では難しいことも、仲間と対話をしながら、ともに光を見つけます。国際平和は必ず実現すると信じて。

令和5年度 よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員

この「よこはま子どもピースメッセージ2023」は、38名の子どもの実行委員が自分たちにできることを呼びかけようと意見を出し合って作成し、ニューヨークの国際連合本部等に届けました。

概要

本事業は、昭和 61 年度から平成 9 年度まで 12 回（12 年間）にわたって開催された「よこはま子ども国際平和フェスティバル」の趣旨を生かし、平成 10 年度に「よこはま子ども国際平和プログラム」と改めました。本市では、この事業を国際理解教育の一環として位置付け、横浜市内の児童生徒の国際平和への意識を高めるとともに、国際平和の大切さを、市民をはじめ広く世界に呼びかけるために行っています。

令和5年度は「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員会」「よこはま子ども国際平和募金」「よこはま子どもピースメッセンジャーの国際連合派遣」などを実施しました。こうした取組を行うことで“国際社会で自分たちのできること”を実践する機会を得ることができました。

「よこはま子ども国際平和プログラム」事業内容

「よこはま子ども国際平和プログラム」活動内容

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で各区の選考及び教育委員会事務局審査を経て本選に出場した児童生徒 38 名全員が「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」として委嘱され、活動を行います。

また、本選で市長賞を受賞した小学生2名、中学生2名は「よこはま子どもピースメッセンジャー」としても委嘱され活動を行います。

日程	活動内容	子ども実行委員の活動	子どもピースメッセンジャーの活動
8月	子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式 第1回子ども実行委員会	○	○
9月	ユニセフ東京事務所・日本ユニセフ協会訪問 「ユニセフハウス」施設見学		○
10月	ニューヨークの国際連合本部・ユニセフ本部・ 国連国際学校 (UNIS) 訪問及び交流等		○
11月	日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」施設見学	希望者	希望者
12月	第2回子ども実行委員会	○	○
	神奈川県ユニセフ協会「ハンド・イン・ハンド」 街頭募金活動、オンライン募金参加	希望者	希望者
	山中横浜市長への活動報告		○
1月	横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会参加		○
令和6年 7月	よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト司会・ 前年度の活動報告		○
令和6年 8月	子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式司会 (前年度小学校の部市長賞受賞者)		○

● よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

- 1 応募者数 39,812名(小学生28,843名 中学生10,969名)
- 2 参加校数 483校(小学校 339校、中学校 144校)
- 3 対象 横浜市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校
- 4 テーマ 「国際平和のために、自分がやりたいこと」
(「SDGs」17の目標に関連付ける)
- 5 経過 令和5年4月下旬から 出場者募集
5月中旬～6月中旬 スピーチ原稿作成・校内選考
6月中旬～7月上旬 区審査会・事務局審査

6 本選

- (1) 開催日 令和5年7月24日(月) 中学校の部 18名出場
7月25日(火) 小学校の部 20名出場
※各区代表児童生徒(各18名)及び特別支援学校・私立学校代表児童(各1名)
- (2) 会場 南公会堂
- (3) プログラム スピーチ 令和4年度子どもピースメッセンジャー活動報告



【市長賞 受賞者】



島田 優心



吉田 愛



大野 瑞葉



佐々木 春樺

【教育長賞 受賞者】



アブドラジゾヴ オイベック



遠藤 永人



高橋 花実



平田 裕音

【審査委員長賞 受賞者】



久保 風雅



武川 昊輝



前原 花凜



樋口 綾音

●「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」本選出場者（子ども実行委員）一覧

<小学校の部>

市長賞	戸塚	品濃小学校	よしだ あい 吉田 愛	「知ることによって自分を変えよう」
	特別支援	盲特別支援学校	しまだ ゆうし 島田 優心	広がるといいな、優しい心
教育長賞	保土ヶ谷	上菅田笹の丘小学校	アブドラジゾフ オイベック	全ての命が守られるエネルギーを届けるために
	瀬谷	二つ橋小学校	えんどう えいと 遠藤 永人	互いに認め合う世界へ
審査 委員長賞	旭	万騎が原小学校	くぼ ふうが 久保 風雅	自分らしさを大切に
	緑	長津田第二小学校	むかわ こうき 武川 昊輝	伝え合いから平和な世界へ
優秀賞	鶴見	豊岡小学校	こやま つきな 古山 月菜	自給自足のエネルギーを
	神奈川	神橋小学校	むらた しゆい 村田 朱衣	森林を守れ！未来のための第一歩
	西	西前小学校	やじま ここな 矢島 志渚	私だからこそ伝えられる自然の大切さ
	中	本牧南小学校	サッカー アイリージェイド	私がか大切にしていること
	南	別所小学校	こんの みゆ 金野 未侑	だれかへの「いいね」で世界に虹を
	港南	野庭すずかけ小学校	すぎやま じんたろう 杉山 仁太郎	私の個性あなたの個性
	磯子	屏風浦小学校	ふじた みお 藤田 美桜	心のバリアがなくなる世界へ
	金沢	能見台小学校	ひらばやし みきな 平林 樹奈	笑顔をつなぐ一口
	港北	日吉台小学校	おおかわ ひなた 大川 ひなた	「やってみる！」から広がる世界
	青葉	藤が丘小学校	ペリカ 果鈴	心の平和
	都筑	南山田小学校	むらい まなか 村井 茉果	小さな一歩
	栄	桂台小学校	おおたに めい 大谷 芽生	当たり前にならないように
	泉	和泉小学校	まつむら ゆう 松村 優風	僕らは地球を救える
私立	横濱中華學院	はっとり うた 服部 譜	僕の願う未来	

<中学校の部>

市長賞	磯子	森中学校	おおの みずは 大野 瑞葉	「僕」
	港北	日吉台西中学校	ささき はるか 佐々木 春樺	「お節介」を広めれば
教育長賞	南	南が丘中学校	たかはし はなみ 高橋 花実	もう目を背けない
	泉	上飯田中学校	ひらた ゆのん 平田 裕音	それぞれの「普通」
審査 委員長賞	西	軽井沢中学校	まえはら かりん 前原 花凜	伝え続けること
	栄	小山台中学校	ひぐち あやね 樋口 綾音	我が家にできる生産と消費
優秀賞	鶴見	寺尾中学校	ほりい まほ 堀井 真帆	学びは人を変え、世界を変える
	神奈川	浦島丘中学校	こまつ めい 小松 芽生	暮らしやすさにハンデのない社会へ
	中	仲尾台中学校	しのはら そらね 篠原 天音	私の思う本当の幸せ
	港南	東永谷中学校	みやお きわ 宮尾 采和	あなたと私をつなぐもの
	保土ヶ谷	西谷中学校	こばやし じょう 小林 晟	とどけ私の声
	旭	南希望が丘中学校	りん しゃいん 林 佳瑩	物の力を世界へ
	金沢	六浦中学校	しらかわ もも 白川 桃々	奇跡の星に射す光
	緑	十日市場中学校	にしだて あやか 西館 綾香	託されたバトン
	青葉	山内中学校	やまもと ゆい 山本 結衣	音楽の輪
	都筑	東山田中学校	なみおか そよ 波岡 そよ	どんな未来を生きますか
	戸塚	大正中学校	せいみや そう せいみや 清宮 想	平和を逃がさないために
瀬谷	瀬谷中学校	ひらた みずほ 平田 瑞穂	どんな国に生まれても	

●子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式

令和5年8月24日(木) 横浜市庁舎レセプションルーム

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の本選に出場した38名が、「子ども実行委員」として山中市長から委嘱を受けました。なお、市長賞受賞者小学生2名、中学生2名は、「子どもピースメッセンジャー」としても委嘱を受けました。



●「子ども実行委員」の活動

★子ども実行委員会

子ども実行委員会を開催し、38人の子ども実行委員で、国際平和への思いをまとめた「よこはま子どもピースメッセージ2023」や「よこはま子ども国際平和募金呼びかけ動画」の作成などを行いました。

第1回 令和5年8月24日(木)

「よこはま子どもピースメッセージ2023」の作成

作成したピースメッセージは、国際連合本部、国連児童基金(ユニセフ)本部、国連日本政府代表部に進呈するとともに、市内小・中・義務教育・特別支援・外国人学校等に配布する報告書に掲載し、発信しました。



第2回 令和5年12月6日(水)

「よこはま子ども国際平和募金」呼びかけ動画の作成、子どもピースメッセンジャー活動報告、講演「世界の飢餓問題と国連 WFP の活動」(国際連合世界食糧計画 WFP 協会)

作成した募金呼びかけ動画は、市立小・中・義務教育・特別支援学校及び私立学校の子ども実行委員所属校へ公開し、各学校の国際平和への取組の中で活用されました。



★日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」施設見学



都内にある日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」に子ども実行委員の有志が訪問して、世界の子どもの現状を学び、国際平和について考えました。

実施日：令和5年11月25日(土)

★神奈川県ユニセフ協会「ハンド・イン・ハンド」街頭募金活動、オンライン募金参加

平和への1人ひとりの想いと、子ども実行委員全員で考えたメッセージを発信する「よこはま子ども国際平和募金」呼びかけ動画を作成しました。横浜市内の学校に公開して各学校での平和募金の呼びかけに役立てたり、神奈川県ユニセフ協会のホームページでも公開したりして、広く平和への想いや募金の大切さを呼びかけました。

また、「ユニセフハンド・イン・ハンド街頭募金」に子ども実行委員の有志が参加し、桜木町駅前で、1人ひとりの声で、募金への呼びかけを行いました。

実施日：令和5年12月16日(土)

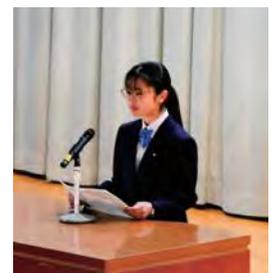


★各学校での取組

- ◎国際平和募金活動でユニセフ募金など各種募金の呼びかけ
- ◎全校集会・学年集会・テレビ放送・ポスター・学校だより等での発信
 - ・自身のスピーチやピースメッセージについて
 - ・活動を通して学んだSDGs達成状況や世界の現状について
 - ・子ども実行委員及び子どもピースメッセンジャーの活動について など

◎その他の取組

- ピースメッセージ中国語版の作成→ポスター掲示／
- 「食糧問題」ポスター作成→全校集会発表／
- 書き損じはがきの回収／総合的な学習の時間でエコクッキング／
- 古絵本の回収と販売→売上金の寄付／ペットボトルキャップの回収／
- ジェンダーについて考える日の設定／母校の小学校でスピーチ／
- ふわふわ(言われると嬉しくなる)行動・言葉を花びらに書いて木にはる活動／
- 子ども実行委員作成動画の全校放送→意見感想の全校共有／
- 全校生徒「すべての子どもに〇〇を」メッセージ作成→校内掲示→意見交換／
- コンタクトレンズ等を回収しワクチンに替える活動／
- 洋服のリサイクルや文房具の回収／給食の残飯を掲示しフードロスを考える活動／
- 教科担任等と協働して「国際平和」についての授業を社会科や学級活動で実施



<活動を終えた子ども実行委員の声>

【新たな学び】

- これまで、SDGs17の目標の1つだけに目が向いていましたが、活動を通して、それがほかの課題にもつながっていることに気づき、視野が広がりました。
- ユニセフハウスの見学をして、世界には権利が守られていない子どもがたくさんいることを知り、自分たちが楽しく生活できていることがあたりまえではないことに気づきました。
- 国連の職員の方が、何度も繰り返し伝えてくれた「お互いのことを知ろう」という言葉は、世界を平和にするだけでなく、人と人をつなぐ橋になると思います。



【仲間との関りを通して】

- 子ども実行委員のみんなと議論をして、今まで考えたこともなかった新しい見方が見つかりました。同じ意見をもった人もたくさんいることを知り、自分の考えに自信ができました。
- 子ども実行委員のみんなと同じ方向に向かって話し合い、仲間の大切さを感じました。国際平和を実現するためにはこれが大切なことだと思いました。
- 様々な経験や思いをもつ実行委員のメンバーと関わる中で、自身が1個人としての考えしかもてていなかったことに気づきました。考えや意見を伝えていくためには、お互いを尊重し合うことが重要だということが理解でき、成長できた気がします。
- 国際平和に対して様々な考えをもつ人がいること、自分は一人ではないことを知ることができました。



【これからの自分】

- 子ども実行委員の活動が終わっても、募金活動等に積極的に参加し、SDGsや世界の現状をより多くの人に知ってもらえるように行動していきたいです。
- 今までは、世界の課題についてテレビ越しに悲観するだけで、まだ自分には何もできないから仕方ないとあきらめていましたが、活動を通して、「今の自分にできることは何だろう?」と考えるようになりました。これからも、その時の自分ができる最大限のことを見つけて取り組んでいこうと思います。
- 行動することと発信することの大切さを学びました。確かな知識をつけ、それをたくさんの人に伝えるときに、興味を持ってもらうための伝え方を学んでいきたいです。
- 世界では、自分と同年代の子どもが、命の危険にさらされながらも地球の未来のために勉強していることを知り、自分ももっと夢に向かって努力しようと思いました。
- 誰かの役に立ちたいとより強く感じるようになりました。今、何が必要なのか、自分には何ができるかを考え、行動していきたいです。



●「よこはま子どもピースメッセンジャー」の活動

スピーチコンテストで市長賞を受賞した小学生2名・中学生2名が以下の活動を行いました。

★ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問

訪問日：令和5年9月25日(月)

内 容：(1) ユニセフ東京事務所 代表 ロベルト・ベネス氏と会談

※令和4年度「よこはま子ども国際平和募金」(9,488,092円)

の目録と「よこはま子どもピースメッセージ2023」を進呈

(2) 日本ユニセフ協会 学校事業部長 金子雅彦氏と会談

ユニセフハウス施設見学



★ニューヨークの国際連合本部・ユニセフ本部・国連国際学校 (UNIS) 訪問及び交流等

派遣期間：令和5年10月15日(日)～10月22日(日)

主な活動：(1) 国際連合本部・ユニセフ本部等へ訪問

○「よこはま子どもピースメッセージ」を発表・伝達

○山中横浜市長から国連事務総長あてのメッセージを進呈

○令和4年度「よこはま子ども国際平和募金」(9,488,092円)の目録を進呈

○国連関係者との対談

・ 国際連合事務次長 グローバルコミュニケーション担当 メリッサ フレミング氏

・ 国際連合フィールド支援担当 国連事務総長補佐 国連国際学校 事務総長特別代表

リサ ブッテンハイム氏

・ 国際連合経済社会局 インクルーシブ社会開発部門 局長 ジョン ウィルモス氏

主任 小野 舞純氏

・ 国際連合教育科学文化機関(ユネスコ) 国連上級調整官 エステル ザドラ氏

・ 国際連合児童基金(ユニセフ)本部

ジェンダー平等プログラムアソシエイトディレクター ローレン ランブル氏

平和構築プログラムオフィサー 深瀬 理子氏

・ 国際連合女性機関 事務局長 シマ サミ イスカンダル バハウス氏

副所長 石川 祥子氏

・ 国際連合日本政府代表部 大使 次席常駐代表 山中 修氏

一等書記官 小松 庸人氏

(2) 国連国際学校 (UNIS) への体験入学・交流



国際連合事務次長



国際連合事務総長補佐



国際連合経済社会局



ユネスコ



ユニセフ



国際連合女性機関



日本政府代表部



UNIS

<派遣を終えた子どもピースメッセンジャーの声>

- 「お互いを知ることが平和につながる」「理解しようとする、対話することが大切」会った人みな共通して伝えてくれました。それを生かして、これから、「平和のために自分は何ができるか」考え続けていきたいです。そして、ここで学んだことを、横浜に、日本に発信しなければならぬと感じています。
- 国連国際学校の子どもたちはお互いの違いを認めて、褒め合っているところが素敵でした。国連の会談でも教えてもらった「他の文化とふれあうことの大切さ」を感じました。
- 会談をした方たちは、僕の話真剣に聞いてくれました。僕の小さい声を聞いてくれる優しい心を持った大人が国連にいることを知りました。これから、もっと僕の声伝えていきたいです。
- 国連で会談した方々は、「話し合うことが大切」「弱者の声を聞くことが大切」「経験が大切」「学校・教育が大切」など、大切だとおっしゃることは様々でしたが、「誰一人取り残さない世界」を目指していることは共通していて、その目標に向けて皆さんが一致団結していたように感じました。



★山中横浜市長への活動報告

実施日：令和5年12月22日(金)
 内容：子どもピースメッセンジャーの活動を報告



★横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会参加

参加日：令和6年1月27日(土)
 内容：子どもピースメッセンジャーの活動を報告
 ESD推進校の児童生徒とESDの取組について協議



●「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

「よこはま子ども国際平和プログラム」の全体の活動を支援するために、市内の公立小・中・義務教育・特別支援学校の校長先生に御協力をいただき、実行委員会を設置しています。

- 第1回 令和5年4月13日(木)
 - ・実行委員会設置
 - ・事業内容の審議
- 第2回 令和5年7月7日(金)
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」実施案の審議
 - ・子ども実行委員、子どもピースメッセンジャーの活動、よこはま子ども国際平和募金について
- 第3回 令和5年7月24日(月)、25日(火)
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営・審査
- 臨時回 令和5年9月12日(火)
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の振り返り
- 第4回 令和6年2月15日(木)
 - ・令和5年度事業についての振り返りと令和6年度事業計画について

職名	氏名	役職
委員長	大塩 啓介	横浜市立小学校長会会長・獅子ヶ谷小学校長
副委員長	鳥越 政晴	横浜市私立中学高等学校長協会代表・サレジオ学院中学校高等学校長
委員	室伏 健治	横浜市立中学校長会会長・上飯田中学校長
	長尾 一	横浜市立特別支援学校長会会長・盲特別支援学校長
	大杉 昭雄	横浜市立小学校長会 多文化共生・国際教室研究部代表・いぶき野小学校長
	鈴木 薫	横浜市立中学校長会代表・金沢中学校長
	石川 隆一	教育委員会事務局学校教育企画部長
事務局長	高橋 義成	教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課長

平成9年度(1997)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(7,758,052円)
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(神奈川公会堂、保土ヶ谷公会堂、戸塚公会堂)
 - ・「第12回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催
(国立横浜国際会議場)
 - ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・「平和行進曲」彫刻展協賛
 - ・国連職員コーラス団受入れ支援

平成10年度(1998)

- ・「よこはま子ども国際平和プログラム」へ名称変更
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(予選:各区/本選:教育文化ホール、西公会堂)
- ・「よこはま青少年ピースメッセンジャー」青少年サミット派遣
(イギリス・バーミンガム市)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(7,923,996円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成11年度(1999)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(予選:各区/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(5,393,708円)
- ・「子ども国際交流団」リヨン市派遣 横浜市〜リヨン市姉妹都市提携40周年記念式典に参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成12年度(2000)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(18,791,996円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成13年度(2001)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(13,503,054円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議への参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー会議」の開催 「子どもピースアピール」の作成
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成14年度(2002)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(14,661,177円)
- ・「Say Yes for Children イン ヨコハマ〜ユニセフ親善大使ロジャー・ムーア氏を迎えて〜」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成15年度(2003)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,712,435円)
- ・「よこはま国際子ども食料会議」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成16年度(2004)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会、国連広報センター訪問 駐日事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(10,787,935円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動
- ・「スマトラ沖大地震・インド洋津波被害救援募金」の呼びかけ

平成17年度(2005)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:保土ヶ谷公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
マーク・マロックブラウン国際連合事務総長官房長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(14,129,319円)
- ・「パキスタン大地震被害救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成18年度(2006)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(14,534,847円)
- ・「ジャワ島地震救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 19 年度 (2007)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 ダン・ローマン日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アン・ベネマン ユニセフ事務局長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,331,049 円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 20 年度 (2008)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 ダン・ローマン兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アシャ・ローズ・ミギロ国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(16,992,563 円)
- ・「ミャンマー・サイクロン・中国大地震緊急募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 21 年度 (2009)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 功刀 純子 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,569,151 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 22 年度 (2010)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,307,325 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 23 年度 (2011)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,832,231 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 24 年度 (2012)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,002,673 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 25 年度 (2013)

- ・「第5回アフリカ開発会議」横浜開催に関連して、「よこはま子どもピースメッセンジャー」等による首脳会議参加各国の首脳・関係の出迎え、横浜市議会会議場でのベナン共和国ゾマホン・ルフィン駐日特命全権大使の演説に対する御礼の言葉と花束贈呈等
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,245,358 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 26 年度 (2014)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ファ・ジャン広報局担当官と会見。林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(9,541,620 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 27 年度 (2015)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
クリスティーナ ギャラチャー広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 坂井スオミ 事務局最高顧問に募金目録を直接手渡す(9,767,656 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 28 年度 (2016)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
潘 基文 国連事務総長に林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 オレン・シュライン 事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,578,214 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 29 年度 (2017)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 山口郁子 事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,773,765 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成30年度(2018)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会
訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッ
セージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ファトゥマタ・ンジャエ事務局長に募金目録を直接手渡す
(9,914,494 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和元年度(2019)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会
訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ジョアン・マクドナルド国連事務総長特別代表(国連国際学校)と会見
林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ハナン・スリエマン副代表及びフィヤツ・キング副代表に募金目録
を直接手渡す(9,869,608 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和2年度(2020)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、よこはま子ども国際平和募金活動
以外は中止

令和3年度(2021)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:ビデオ審査)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合オンライン交流
中満 泉 国際連合軍縮担当上級代表と会見 ピースメッセージを渡す
- ・ユニセフ本部 パロマ・エスクデロ コミュニケーション局長及び功刀 純子 公的
パートナーシップ局長に募金目録を渡す(7,570,984 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和4年度(2022)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会
訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見
山中市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 イサ・アコバ副部長に募金目録を直接手渡す
(8,841,519 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和5年度(2023)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会
訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見
山中市長メッセージとピースメッセージを手渡す
- ・ユニセフ本部 ローレン ランプル氏に募金目録を手渡す
(9,488,092 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動



発行

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会事務局
横浜市教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課内

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL 045-671-3588

この事業は、株式会社オカムラ様・横浜冷凍株式会社様の御協力をいただいて実施しています。